

主題：神の家また神の都としての召会を建造するための 主の回復の内在的な意義

メッセージ 2

神のエコノミーのための人の霊の回復

聖書：創 2:7. ゼカリヤ 12:1. 箴 20:27. ヨハネ 3:6. ローマ 8:16. I コリント 6:17

I. 神は彼の回復の原則の中で、彼の選ばれた者を初めに戻し、彼が人を創造した当初の意図に戻します——マタイ 19:8. 創 1:26. 2:7-12. 参照、アモス 3:7：

A. 神の当初の意図の「青写真」において、人は全宇宙の中心であり、人の中心は人の霊です——ゼカリヤ 12:1. 創 2:7：

1. 天は地のため、地は人のためであり、人は神によって霊のあるものに創造されました。それは人が神と接触し、神を受け入れ、神を内容とし、神を礼拝し、神を生き、神のために神の目的を成就し、神を表現し、神と一になるためです——箴 20:27. ヨハネ 4:24. I コリント 6:17。

2. 神がその霊でなく、わたしたちが神と接触し神と一になる霊を持っていないなら、全宇宙は空であり、わたしたちは無です——伝 1:2. 3:11. ヨブ 32:8. 参照、I テサロニケ 5:23. ヘブル 4:12。

B. 人は器として、霊を活用して、命の木としてのキリストにある神を受け入れるべきでした。それは、川としての命が人の最も内なる存在の中に流れ込み、そこから流れ出て、造り変えられ、神の建造、神の永遠の表現のための尊い材料となるためです——創 1:26. 2:7-12, 22. I テモテ 4:7-8。

C. 人の霊は人の最高の最も高貴な部分であり、人は霊を通して見えない霊的な世界と接触することができます。主の回復は、わたしたちの霊の中で、霊をもって真に神を礼拝し、わたしたちを物質の世界の見えるものから、霊の世界の見えないものに回復することです——ヨブ 12:10. II コリント 4:13, 16-18. ヨハネ 4:24。

D. 神の息はわたしたちの人の霊となりました。わたしたちの霊は神のともし火であり、油としての神を内容とし、わたしたちに光を与えます——創 2:7. 箴 20:27。

E. 人の霊は墮落を通して壊れたともし火となりましたが、神の救いにおける回復を通して、活気づける七倍に強化された霊をもって、人の霊は再生され、再建され、補強されます——ヨハネ 3:6. 箴 20:27. 啓 4:5。

F. 人の再生された霊は、神の霊が働き、主が住む所です——ローマ 8:16. II テモテ 4:22。

G. 人の存在の中央政府、最も主要な部分は霊であるべきです。霊によって支配され制御されている人は、霊的な人です——I コリント 2:14-15. 3:1. 14:32. ヨハネ 3:6. エペソ 3:16. I ペテロ 3:4. ダニエル 6:3, 10。

H. わたしたちは何であろうと、わたしたちは何を持っていようと、わたしたちは何を行なおうと、霊の中にいなければなりません。わたしたちに対する神のすべては、わたしたちの霊の中にあります——ローマ 2:28-29. 1:9. 8:4. 12:11。

II. 神の霊はわたしたちの人の霊の中に住み、共にミングリングされて一つ霊、ミングリングされた霊となっており、神のエコノミーの戦略的な中心点です——I コリント 6:17. I テモテ 1:4. II コリント 4:13. エペソ 2:22. ヨハネ 1:51：

A. 神のエコノミーを成就する大いなる道は、わたしたちが霊を活用してその霊にした

がって生き、すべてのことを行なうことです——ヨブ 10:13. エペソ 3:9. ローマ 8:4. ガラテヤ 5:25。

- B. 神が人を神化する彼の動きを遂行して、彼のエコノミーを成就するために、わたしたちは、霊の中のすべてを含む霊から離れたどのような行動も取らず、どのような状況にも直面せず、どのような必要にも応じてはなりません。神の有機的な救いの秘訣は、わたしたちの霊を伴うその霊です——ローマ 8:16. ピリピ 4:11-13. 詩 91:1。
- C. わたしたちは霊の中で、霊をもって真に神を礼拝することによって、命の源としての父なる神、命の泉としての子なる神、命の川としての霊なる神を享受し、新エルサレム、命の都になることができます——ヨハネ 4:24, 14. ユダ 19-21. 参照、10 節。
- D. わたしたちは霊の中にいる時、この世に打ち勝ち、罪を犯さず、悪しき者はわたしたちに触れることはできません。霊の中にはないものはすべて偶像です——I ヨハネ 5:4, 18-19, 21。
- E. わたしたちは自分の霊に注意し、思いを霊に付け、霊へと減少させられ、どのようにして霊の中で絶対的に生きて、召会、彼のからだを建造するのかを学ぶ必要があります——マラキ 2:15-16. ローマ 8:6. II コリント 2:10, 13-14. 啓 1:10。

III. 主が神の家また神の王国としての召会を回復することは、わたしたちが霊を活用して霊の中で生きてはじめて実現することができます——エズラ 1:1-5. ハガイ 1:14. エペソ 2:22. ローマ 14:17 :

- A. 命を与える霊としてのキリストは、わたしたちが霊の中に生き、霊を活用する時、わたしたちのすべてとなることができます。魂の中に生きることは、反キリストの原則に生きることです——ゼカリヤ 4:6. 12:1. I コリント 15:45 後半. 6:17. I ヨハネ 2:18。
- B. 主の回復は、わたしたちの霊の中の一の回復です。霊の中にいることは、エルサレム、すなわち、単純さと一の場所にいることですが、思いの中にいることは、バビロン、すなわち、混乱と分裂の場所にいることです——ヨハネ 4:24 :
 - 1. わたしたちの霊は恵みの「国」であり、一人の新しい人のために人種を飲み尽くします。わたしたちの思いは争いの「国」です——ガラテヤ 6:18. 5:15. コロサイ 3:10-11。
 - 2. 幕屋の立枠の結合する横木は、アカシア材で造られ金で覆われており、結合する霊としての聖霊が、わたしたちの人の霊とミングリングされること、ミングリングされた霊を表徴します——出 26:26, 29. エペソ 4:3-4。
 - 3. わたしたちは霊に戻って霊を活用する時はいつも、からだに触れます。なぜなら、からだはわたしたちの霊の中にあるからです——エペソ 1:17. 2:22. 3:5, 16. 4:23. 5:18. 6:18。
 - 4. 「わたしたちの霊」はすべての聖徒の霊を含んでおり、召会はすべての聖徒の再生された霊の集合であり、わたしたちは霊の中にいる時、個人主義から救われます——ローマ 8:16. エペソ 3:16, 18-19。
 - 5. かしらとしてのキリストに結び付くことは、わたしたちの霊の中にとどまり、彼と親密に結合され続けることです。わたしたちは霊の中に生きてかしらとしての彼を享受すればするほど、ますますからだの肢体を愛します——コロサイ 2:19. 1:4, 8. 使徒 24:16。
- C. わたしたちは霊の中に生き、霊を活用して、神の与えられた霊を燃え立たせる時、

からだの肢体として機能し、からだを建造することができます——ローマ 1:9. 7:6.
II テモテ 1:6-8. I コリント 14:4 後半, 32. ペリピ 3:3。

©2004 *Living Stream Ministry*